

学校だより青南



1月号

平成30年1月9日

港区立青南小学校

校長 関 幸治

次へのステップに

校長 関 幸治

新年あけましておめでとう存じます。皆様おそろいで新年をお迎えのことと思います。今年は戌年「戌戌（つちのえいぬ）」戌の特徴として、「勤勉で努力家」があげられるそうです。今年の青南小学校は、このことにちなんで、子供たちに、何事にもしっかり取り組み、困難をも乗り越えていける力を身に付けさせるようにしたいと思います。

本年度の学校経営方針の中で、自立した人として力強く生きていくための人間力をもたせることを目標としました。そして、人間力を付ける3つの柱として、学力の向上、社会性の育成、健康な心や体をあげました。

学力の向上では、児童一人一人が、何を学ぶかを意識し、何を学んだのかを自覚できるようにすること、課題発見と解決に向け、「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」を取り入れていくことにしています。年末に児童から集めたアンケートを見てみると、「学習がよく分かり勉強ができるようになってきた」が97%、「自分から進んで学び考えることができた」91%となっています。

日々の学習では、興味関心をもたせ、見通しをもって取り組ませること、子供同士で学び合い、自己の考えを深めること、学んだことを基にさらなる創造につなげることを目指しています。まだまだ十分ではありませんが、教員一人一人がよりよい授業となるように研修を進めています。子供たちの評価が100%となるよう、今後も工夫を続けていきます。

社会性の育成では、挨拶活動や、多くの人とふれあい体験活動を重視すること、思いやりのある行動をとれるようにすることを重点にしてきました。「正しい言葉遣いや気持ちよい挨拶ができた」93%、「人に親切にし、人を思いやる気持ちをもてた」94%、「行事や学習で、役割をやり遂げることができた」94%となりました。

縦割り班活動や挨拶ボランティア、幼稚園児や保育園児との交流などを通して、子供たちの思いやりの心、相手を敬う心などが育ってきていると思います。これからも、このような活動を取り入れ、子供たちが満足できるようにしていきます。

健康な心や体では、主体的に自己の体力向上や健康作りに取り組むこと、自尊感情が育つように心を大切にしてきました。「体力作りに進んで取り組んだ」93%、「自分の意見が認められたり大切にされたりした」88%となりました。

自分を大切に思い、自分らしく生きることは大切です。日々の生活の中で、このことを常に意識していきたいと思っています。評価にはありませんが、返事の声が小さいのが気になりました。自信をもって何事にも取り組めるように声をかけていきたいと思っています。

3学期は登校日が57日という短い学期となります。次へのステップとなるように、心がけてまいります。今学期もお力添えをよろしくお願いいたします。

《1月行事予定》

- 9日(火) 始業式 安全指導
B時程 4時間授業
給食なし
- 10日(水) B時程 4時間授業
給食始
書き初め会(2・5・6年)
- 11日(木) 書き初め会(1・3・4年)
- 12日(金) 港区&サントリー
Enjoy! Music プロジェクト(4年)
- 15日(月) 全校朝会
走り方教室(3年)
発育測定(1年)
- 16日(火) 縦割り班活動
- 17日(水) B時程
校外学習(3年)
発育測定(2年)
- 18日(木) B時程 発育測定(3年)
委員会活動
- 19日(金) 避難訓練(中休み)
発育測定(6年)
- 20日(土) 土曜授業 児童集会
道徳授業地区公開講座
書き初め展始
- 22日(月) 全校朝会
発育測定(4年)
- 23日(火) 4時間授業
発育測定(5年)
研究授業(5年2組)
- 24日(水) B時程
青南幼稚園との交流(5年)
クラブ活動
- 25日(木) お話ポケット(1~3年)
代表委員会
- 26日(金) B時程
全学年5時間授業
- 29日(月) 全校朝会
- 30日(火) 校外学習(4年3組)
石臼体験(3年)
琴体験(6年)
- 31日(水) B時程

1月の生活目標 【落ち着いた生活をしよう】

生活指導部

新しい年が始まり、3か月後には、新しい学年へと進級します。6年生にとっては、小学校を卒業し、中学校への進学です。

4月から始まる新しい生活を、気持ちよく、前向きにスタートさせるために大切なのが、今日から始まる「3学期」なのです。

名前を呼ばれたら「はい。」と返事をする事、丁寧な言葉遣いで話す事、自分から進んで挨拶すること、時刻・時間を守って生活すること等、日ごろから青南小学校で大切にしてきたことを今一度振り返り、取り組んでみましょう。それが、今月の目標である「落ち着いた生活」につながると考えます。

道徳授業地区公開講座～東京2020に向け 共生社会の実現を目指して～

道徳部

1月20日(土)に道徳授業地区公開講座が行われます。2校時には、全学級で「道徳の時間」の公開授業、3校時には、「心のバリアフリー教育」として、学習院大学客員教授モハメド・オマル・アブディン氏とTBSアナウンサーの秋沢淳子氏から2020年東京オリンピック、パラリンピックに向けた「障がい者理解」、異文化への理解を視野に入れた「国際理解」についてのお話をさせていただきます。平成30年度から「特別の教科道徳」と教科化される「道徳」です。子供たちが現実生活で主体的に道徳的問題を解決できるように「学校」と「家庭」で情報などを共有できる機会に出来ればと思います。

〔2年〕

小さい頃を振り返って 青南保育室見学

2年生は、12月18日（月）と21日（木）の2日間に分けて、青南保育室の見学に行ってきました。自分たちよりも小さく、言葉もつたない保育室の子どもたちに、最初こそ戸惑っていたものの、だんだんとふれあえるようになっていきました。

保育室には0歳～5歳までの子どもがいるため、2年生も6つのグループに分かれて見学に行き、お着替えを手伝ったり、一緒に遊んだりしました。そうした活動の中で、今の自分たちと比べて、「手の大きさはどれくらいだろう」「靴のサイズはいくつかな」「食べているものはどんなものだろう」など、様々な視点で保育室の見学をすることができました。自分の小さい頃を振り返り、年下の子どもたちとふれあうことで、2年生は自分たちの成長と、昔の自分たちがどんなことをしてもらっていたのかを感じることができたようです。



〔4年〕

さわって、動かして、考える 理科学習

理科の「体のつくりと運動」では、専科の寺師先生協力のもと、非常に体験に富んだ学習ができました。まずは、ロボットアームをゲーム感覚で動かしながら、人間の腕とロボットアームの共通点や違いを考えました。骨と関節について理解したところで、鳥の手羽先を触っていろいろと動かしながら、筋肉が骨にどのようについて動かしているのかを考え、それをもとに腕の模型を作りました。また、人体1人分全ての骨を班のメンバーで協力して人体の形に並べたり、動物の体と人の体のつくりの違いを考えたりしました。最後には、食事をさせてくれる最新型介護ロボットを体験して、人間の体のつくりの精巧さに気付くとともに、今後のロボットの可能性についても考えを巡らせました。さわって、動かして、考えながら、実感をともなった理解ができたようです。



ロボットアームを真剣に操作



介護ロボットで食事を体験

〔算数少人数〕

算数科の学習では、3年生から6年生まで、クラスを5つに展開し授業を行っています。算数少人数教室には、他学年が学習した内容を一目で確認できるように学習内容を掲示物しています。また、他学年のノートを教室に置いておき、下級生は上級生のきれいなノートを参考にしながら学習に取り組むことができるようになっていきます。

3年生は、小数や分数、重さなど、これからの学習に欠かせない大事な事柄について学習をしています。円の学習では、コンパスを使いました。初めてコンパスを使って円をかくのに苦戦している様子も見られましたが、一生懸命円を描く活動に取り組みました。4年生は、面積や計算のきまりなどの学習に取り組みました。面積では1cm²の紙を爪の上に載せたり、1m²の上に人が何人乗れるかを調べたり数的量感が鍛えられるように、実際に体験しながら学習を行っています。



〔運動委員会〕

運動委員会では、体育倉庫などを中心に運動に関わる場所や用具の整理整頓、休み時間の道具の片付けの補助、そして休み時間に行う UGOKING タイムの企画運営を行っています。全校が整理整頓を意識できるように話し合いをし、ポスターの掲示をしています。また5、6年生が協力して行っている UGOKING タイムは、4月から様々なおに遊び、学年別リレー、ドッジボール大会、だるまさんがころんだ、など行ってきました。1年生から6年生まで異学年交流をしながら楽しく運動遊びに取り組むことを勧めることが出来ています。3学期は、リクエスト UGOKING ということで、アンケート箱を用意して大勢で取り組んでみたい運動遊びを聞いています。寒い日が続きますが、元気いっぱい健康な体つくりのために活動していきたいと思います。



〔ソフトボールクラブ〕



ソフトボールクラブは、4年生6名、5年生6名、6年生17名の29名で活動しています。野球経験のある人、そうでない人でも楽しめるようにルールを工夫しながら取り組んでいます。試合の時には、6年生中心となってチームのメンバーを分け、練習メニューや作戦を立てる話し合いが行われます。試合が始まれば学年を越え

て「がんばれー」「アウトとるよー」などの声が飛び交います。初めてのクラブ活動となった4年生も「投手が投げたボールを思いっきり打つことができた」「5・6年生がドンマイって言ってくれてうれしかった」などの声が聞こえてきます。3学期は、6年生にかわって5年生が活動の中心となって活躍してもらおうと考えています。お互いに声をかけ合い、自主的な運営ができるのがソフトボールクラブのよさです。興味がある人は是非入ってみてください。